

## スポーツの聖地づくり

# オリンピック・パラリンピックの県内開催を機に

# サイクリストの憧れを呼ぶ聖地へ

「スポーツの聖地づくり」を合言葉に、スポーツの普及や交流などの拡大を目指す静岡県は、アスリートの育成やスポーツ人口の増大に取り組んでいる。

今回は開催まで2年を切った東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた取り組みを紹介する。

### 2年後が楽しみに

東京2020オリンピック・パラリンピック(以下、東京2020大会)の開催まで2年を切った。

開催機運醸成のため、県は今年7月から9月にかけて「オリンピック・パラリンピック2年前イベント期間」を設け、様々なイベントを開催した。

伊豆市のペロドロームでは、自転車を楽しむ参加型イベントを開催し、地元プロチームと自転車愛好家で編成するキャラバン隊によるPRを実施。また、今年2月にロードレースのゴールに決定した富士スピードウェイ



東京2020パラリンピック競技大会に向けた「静岡県開催2年前決意式」。バラスポーツ選手が決意を新たにしました。



富士スピードウェイに出席した本県ブース。自転車競技ロードレースのゴール地点をアピール。

(小山町)でモータースポーツファンに本県開催をPRした。プラサヴェルテ(沼津市)では、パラリンピック選手によるトークショーやタンデム乗車体験など、パラサイクリングを

知ってもらいイベントを実施した。県庁では、本県にゆかりのあるパラアスリートや関係者による「決意式」を行った。他に、東京でのカウントダウンイベントにも参加した。

東京2020大会1年前の来年には自転車ロードレースとMTBのテストイベントを開催予定であり、本番への期待は膨らむばかりだ。

機運醸成で重要なのは、継続的かつ広範囲な情報宣伝活動だ。今後も県は500日前、1年前と、カウントダウンイベントを通して、東京2020大会への期待感をより高めていく構えだ。

### サイクリストの憧れを呼ぶ聖地へ

県は東京2020大会の機運醸成と併せて、本県がサイクリストの憧れを呼ぶ聖地となるよう、サイクリスト目線の環境整備にも力を入れている。

自転車は健康増進への効果が



魅力的なサイクリングコースを紹介する「SHIZUOKA CYCLING」は、本県の新しい魅力や旬の情報を発信するWebサイト「ハローナビずおか」内に設置。



E-BIKEの活用により、初・中級者も上級者と一緒楽しめる起伏のあるルート設定が可能。

### ◎静岡県での開催日程(予定)

大会	種目(日程)	会場
オリンピック	トラックレース(8/3~9)	伊豆ペロドローム(伊豆市)
	ロードレース(7/25・26・29)	スタート:武蔵の森公園(東京都) ゴール:富士スピードウェイ(小山町)
	マウンテンバイク(7/27・28)	伊豆マウンテンバイクコース(伊豆市)
パラリンピック	トラックレース(8/27~30予定)	伊豆ペロドローム(伊豆市)
	ロードレース(9/2~5予定)	スタート・ゴール: 富士スピードウェイ(小山町)

(H30.10.1現在)

期待できる。低炭素社会の構築にも寄与し、観光資源を巡る交通手段として活用できる。豊かな自然に恵まれた県内には、伊豆半島など起伏のある地形や、東海道など比較的平坦な道もあるため、誰もがサイクリングを楽しめる環境がそろっている。そこで県は、自然、歴史、食文化等のコンテンツを生かした新たなサイクリングコースを開発、情報発信し、各地の魅力を語るローカルガイドを育成するなど、サイクルツーリズムによる交流人口の拡大を図る取り組みを行っている。

また、休憩、自転車のメンテナンスができるバイシクルピットや、自転車の走行位置を示す矢羽根型の路面表示の整備も進めている。さらに、電動アシスト機能を備

えたスポーツ自転車「E・BIKE」の普及に向け官民で検討を始めている。近年、E・BIKEは飛躍的に走行距離が伸びているため、初心者や高齢者も本格的なサイクリングを気軽に楽しめる。道の駅「伊豆のへそ」などでは、ロードバイクに加えE・BIKEのレンタルやコースガイドを開始している。

東京2020大会の機運醸成とサイクリストの憧れを呼ぶ聖地づくり、この2つの取組が噛み合い、自転車に対する理解と普及が進めば、大会を成功へ導くことも、スポーツの聖地づくりを目指す本県に世界的なレガシー遺産を残すことになるだろう。

## Pick up Athlete 06

### チームブリチストンサイクリング

自転車競技

静岡県はサイクルスポーツの好適地です。



チームブリチストンサイクリングは日本を代表する自転車競技チームだ。今年9月に伊豆ペロドロームで開催された「第87回全日本選手権競技大会トラック・レース / 2018日本パラサイクリング選手権・トラック大会」では3つの日本新記録と5つの大会記録を叩き出し、12種目で全日本チャンピオンのタイトルを獲得した。

同チームは昨年、拠点を埼玉県から三島市へ移すと発表した。理由は東京2020大会の自転

車競技が本県で開催されるからだ。チームを束ねる六峰巨監督は「国内トップの実力を示して金メダルを狙います」と宣言し、チームリーダーの窪木一茂選手も「すでに五輪モードです」と語る。

ロードトレーニングでは伊豆半島をまわることも多い。「起伏があつて、空気もきれいな静岡県は自転車トレーニングの好適地。特に西伊豆の海岸線は爽快感があるので大好きな場所の1つです」と監督と選手は口をそろえる。

選手は休日も自転車に乗るといふ。「アクティブ・リカバリーと呼びますが、筋肉をリラックスさせるために箱根や伊豆へ出かけます。その時に富士山やおいしい食べ物に出会うと気分もリフレッシュできますね」と窪木選手。

東京2020大会でメダルラッシュを狙うチームには別の目標もある。「それはレガシーを残すこと。チームの活躍で日本に自転車文化が根付き、国内全スポーツの競技力が向上したら嬉しいですね。自転車にはそんな

力もあると思います」と六峰監督。チームは大きな夢に向かってもう走り出している。

### Profile

1964年(東京オリンピック開催年)に埼玉県上尾市で創部。当初はブリチストンサイクル(株)の社員が選手を兼ねていたが、1999年に完全プロ化。以来、オリンピック選手を数多く輩出する名門チームとして国内外に知られる。2017年12月、静岡県三島市へ拠点を移設を発表。現チームの構成は監督、コーチ、選手を含めて19人。スローガンは「CHASE YOUR DREAM!」。



むつみわたる 六峰 巨監督

くぼき かずしげ 窪木一茂選手